

会議結果報告書

令和8年1月16日

会議の名称	第6回 東地区まちづくり懇話会	
種別	<input type="checkbox"/> 附属機関 <input checked="" type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和7年12月16日(火) 14時00分～16時00分	
開催場所	市役所本館4階 413会議室	
出席者	別紙のとおり	
議題	(1) 東地区まちづくり構想について (2) 東地区まちづくり構想のロードマップについて	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	0名	
審議結果 及び 主な意見等	別紙のとおり	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		

担当課	舞鶴市建設部都市計画課 TEL (0773)66-1048
-----	----------------------------------

第6回東地区まちづくり懇話会

1. 日時: 令和7年12月16日(火)14:00~16:00
2. 場所: 市役所本館4階 413会議室
3. 出席者: (委員) 嶋田委員、川井委員、名取委員、福村委員、渡邊委員、岡井委員(オブザーバー)
(事務局) 上羽次長、山下主幹、阿部係長

4. 内容

1. 事務局報告

国土交通省のサウンディング調査に関する結果概要について報告を行った。

2. 東地区まちづくり構想とロードマップについて

舞鶴高専を東地区まちづくりの軸とすること及び実行に向けたロードマップ案を提示した。

【意見交換】

○構想の進め方とプロセスについて

- ・まずは地域の人たちと学校や学生が話し合い、「こういうまちにしていこう」という思いを共有するプロセスが重要。
- ・地域住民の協力体制が整っていることを高専側に見せることで、学校側も動きやすくなるのではないか。
- ・高専の全機能を短期間で移転させることは、面積的にも費用的にも不可能である。サテライトキャンパスや地域との交流の場のような、学校側も乗りやすいワンステップをまずは実現してはどうか。
- ・高専側の意向と地域の意向を汲み取りつつ、あらゆる選択肢を排除せずに検討を行うべきである。
- ・学校を持ってくるという発想だけでなく、高専の持つ課題解決力やリスクリング機能をまちづくりに活かすという視点での連携も可能である。
- ・高専生が寮にこもらず、まちに出て消費活動を行うことが活性化につながるため、一定の拠点は必要である。拠点は作りつつも教室機能は商店街の中に分散させるなど、コストを抑えながら回遊性を生む形も良いのではないか。
- ・商店街の空き店舗を学生がリノベーションすれば、研究費の範囲内で活動場所が作れるのでは。まず始められることから着手してはどうか。

○今後の体制づくりについて

- ・舞鶴高専、市、地域の3者が課題を共有し合う場(ワークショップ等)が必要ではないか。
- ・地域貢献は高専の重要な柱の一つであるため、その柱に基づくことであれば高専にも協議の場に着いて

もらえると考える。

・高専側に関与してもらうことが最大の前進だと考える。まずは3者が集まる会議体を作ることが、本懇話会の答えになるのではないか。